

9/11 五期

戦争法案廃案を求めた8月30日の国会大行動で、警察関係者や警察当局により報じられた「3万3000人」という参加者数が当日の会場の「特定のエリアの一時点における人数」だったことが10日、分かりました。参院外交防衛委員会で警察庁の斉藤実審議官が明らかにした。国会大行動全体の参加者数を「3万3000人」と把握したものでないことが判明しました。

大行動を呼びかけた総がかり行動実行委員会は、参加者「12万人」と発表しています。

斉藤審議官は「警察

国会大行動「3万3000人」は警察庁認める 全体数ではない

発表として参加者の数を発表した事実はない。全体の数を発表する立場にない、「あくまで、警察活動に必要な範囲で、特定のエリアの一時点における人数の把握に努めており、それぞれの現場に応じた方法で人数の把握をしている」とのべました。数字の根拠をただした民主党の藤田幸久議員に対する答弁です。

参加者数について、産経新聞（1日付）は上空から撮影した写真を使い、国会正門前は「約3万2400人」と独自に試算。「12万人にはほど遠い」と報道していました。